

東海大学大学院医学研究科博士課程
「将来予測保健指導者養成コース」
入学案内

Enrollment Information for
Postgraduate Course (Doctoral Course)

Development of Global Health Leaders Based
on Health Forecasting



東海大学医学部
Tokai University School of Medicine
東海大学医学研究科
Tokai University Graduate School of Medical Science
東海大学大学院医学研究科国際医療保健協力センター
Research Center for International Health Development,
Tokai University Graduate School of Medicine

「将来予測保健指導者養成コース」開設に当たって

Opening of a new Program, “Development of Global Health Leaders Based on Health Forecasting,” in the postgraduate doctoral course

文部科学省が平成17年度から実施する「魅力ある大学院教育イニシアティブに、東海大学医学研究科先端医科学専攻の教育プログラム「将来予測保健指導者養成コース」が採択されました。この大学院博士課程は、私どもが1996年から毎年開講してきました4～5週間の「東海大学WHO協力21世紀保健指導者養成コース」を発展させたものです。

私どものこれまで行ってきました保健指導者養成コースは2005年に10周年を迎え、これまで東南アジア各国の医療・保健政策担当者を中心に122人が受講しており、各国の医療政策の中核を担う人材を輩出しています。2006年に開設された博士課程は、これまでの短期の保健指導者養成コースを発展させ、学究的態度で医療政策を立案する人材の養成を目指すものです。

多くの学生諸君の応募を期待しています。

医学部長

猪子 英俊

医学研究科委員長

木村 穰

The Research Center for International Development at Tokai University Graduate School of Medicine has held its “Training Course for Health Futurists – Development of Global Health Officers” since 1996. In 2005 the 10th anniversary of this training course was celebrated and 122 trainees have completed this course. We are proud of the inauguration in April 2006 of an advanced program in the form of a four-year Postgraduate Doctoral Course for “Development of Global Health Leaders Based on Health Forecasting,” which has been selected as an excellent program of “Attractive Education in Graduate Schools” by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan. The new program aims to nourish health officers able to forge new health policies with an academic mind.

Students interested in becoming future health policy makers are encouraged to apply to the doctoral program.



Hidetoshi Inoko, Ph.D.

Dean, School of Medicine



Minoru Kimura, Ph.D.

Chairperson, Graduate School of Medical Science

「将来予測保健指導者養成コース」の使命

The mission of the new program “Development of Global Health Leaders Based on Health Forecasting”

本大学院の使命は、保健・医療・福祉の分野で国連のミレニアム目標（2001年）を達成するための人材を養成することにあります。国連は、①貧困者を半減する、②小学校教育を世界中の子供たちに、③性差別をなくす、女性の地位向上、④子供の死亡率を低下させる、⑤母子保健の改善、⑥エイズ撲滅、⑦地球環境の改善、⑧国際協調の8つをミレニアム目標としました。これらの目標を達成するためには、それぞれの国で自国の政治、経済、文化、宗教、伝統、習慣を考慮し、将来予測に基づく医療政策を立案する必要があります。しかしながら、発展途上国はもちろん、わが国や先進国においても必ずしもこの手法が実施されているわけではありません。私どもの開発した将来予測手技（BFT: Bioforecasting Technology）を体系的に学び、更に研究発展させ、人類の保健・医療・福祉に貢献することにあります。

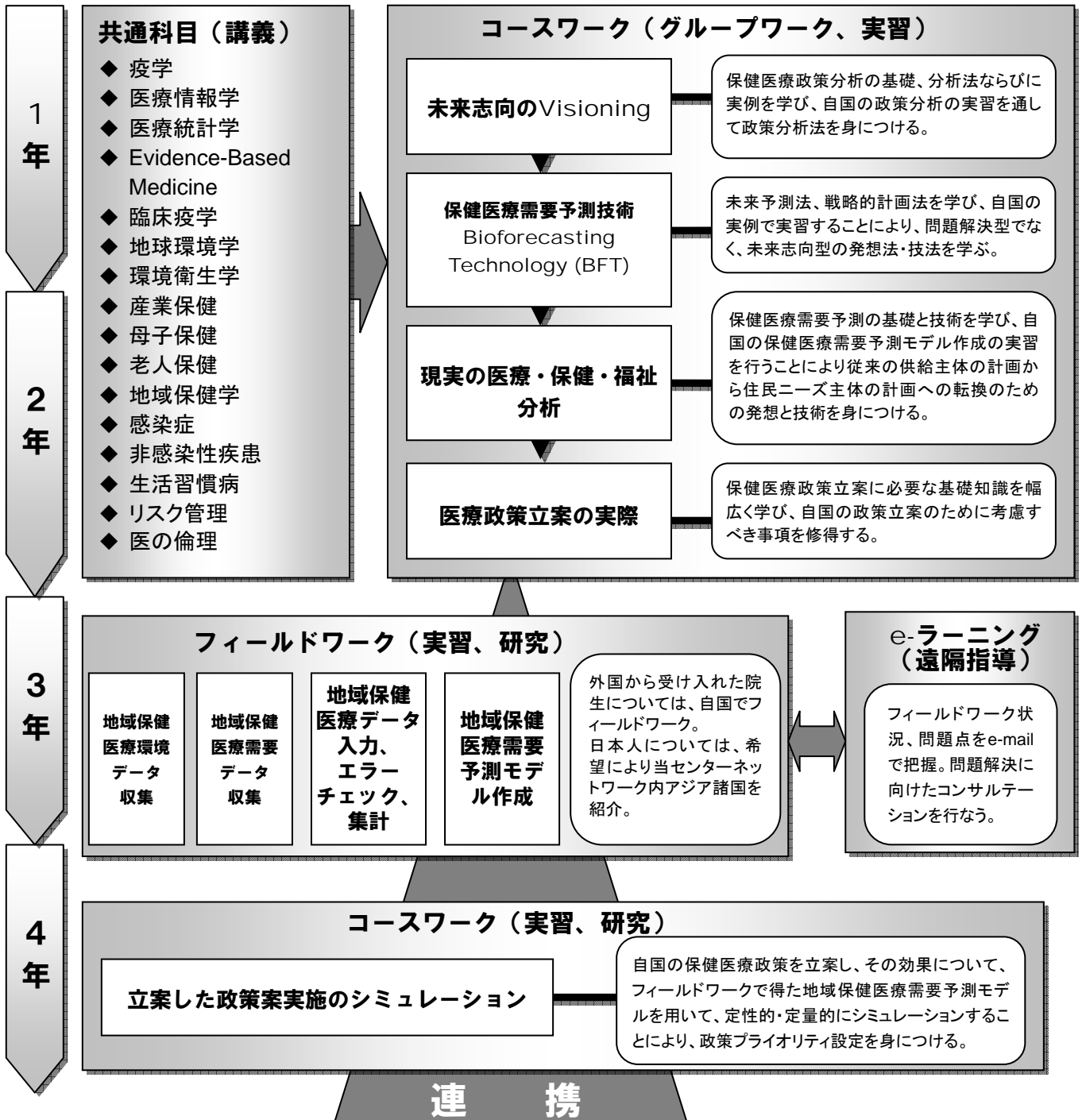


The mission of the new program is to develop health officers to implement the eight Millennium Development Goals derived from the Millennium Declaration. Millennium Development Goals to be achieved by 2015 are 1) halve extreme poverty and hunger, 2) achieve universal primary education, 3) empower women and promote equality between women and men, 4) reduce under-five mortality by two-thirds, 5) reduce maternal mortality by three-quarters, 6) reverse the spread of killer diseases, especially HIV/AIDS and malaria, 7) ensure environmental sustainability, 8) create a global partnership for development, with targets for aid, trade and debt relief. To achieve these goals each country should draw up a health policy based on the bioforecasting technology taking into consideration the policy, economy, culture, religions, traditions, and customs of each country. However, this method is not always used, not only in developing countries but also in developed countries. In particular, it is important to learn bioforecasting technology (BFT) systematically and develop BFT adapted to each country in order to contribute to global health and welfare.



将来予測国際保健指導者養成コース

各国の背景を踏まえた上で対処できる人材の育成



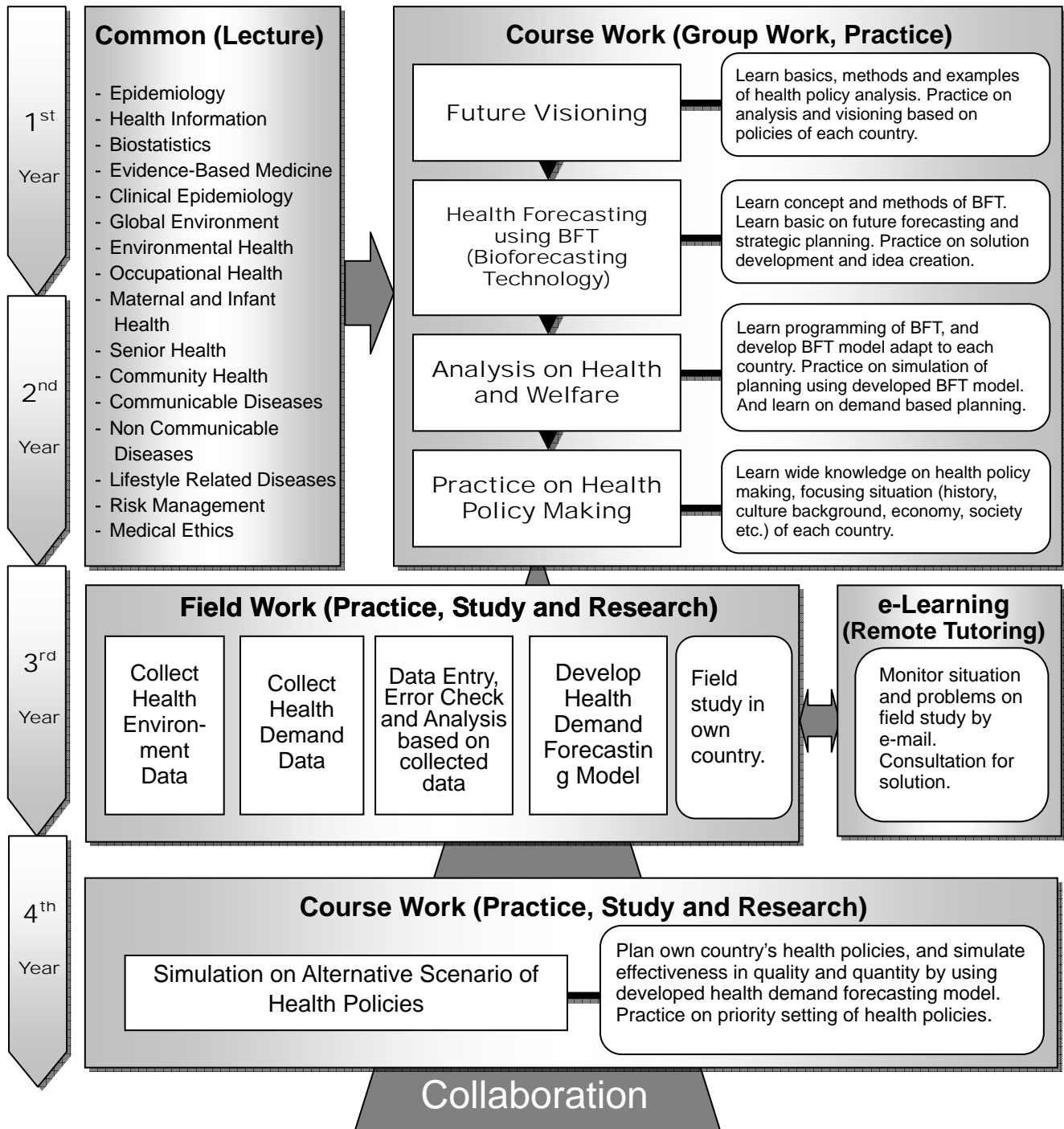
21世紀保健指導者養成コース

東海大学 大学院医学研究科
国際医療保健協力センター
国際保健機関 西太平洋事務局
独立行政法人 国際協力機構

1996年から毎年実施。4～5週間。
アジア諸国の保健省中堅幹部、地方保健行政機関幹部、国立研究所幹部研究者が参加。
1995年～2006年までで25カ国、122名が卒業。



Post Graduate Course (Doctoral Degree) for Development of Global Health Leaders based on Health Forecasting Human Development of Health Personnel Adapt to Changing Health Environment



Training Course for Health Futurist -Development of Global Health Officer



RCIHD
Research Center for International Health Development
Tokai University Graduate School of Medicine



WHO-WPRO
World Health Organization Western Pacific Regional Office



JICA
Japan International Cooperation Agency

Open every year from 1996. 4-5 weeks duration. Attending senior officers in health ministries and local health department offices, senior researchers, professors in national health institutes, universities, etc. Graduated 122 persons from 25 countries.

学位取得・奨学金制度について

Requirements for the Doctoral Degree and Financial Aid

学位取得

学位審査には、4年間で筆頭論文が1編、副論文が3編必要です。さらに4年終了時に口頭試問にパスすれば学位が取得できます。

Requirements for the Doctoral Degree

To obtain a doctorate, students must prepare a dissertation. In addition, three more papers are required though it is not necessary to be the first author. After passing an oral examination, students can obtain their doctoral degree.

奨学金

大学には各種奨学金制度があります。詳細はお問い合わせください。メールアドレス: tewatana@is.icc.u-tokai.ac.jp

Financial Aid

Sources of financial assistance at the Graduate School of Medicine can vary according to each student's situation. Please ask for details via email.

tewatana@is.icc.u-tokai.ac.jp



担当教員の紹介

Faculty Members

氏名 Name	身分 Title	専門分野 Research Interest
渡辺 哲 Tetsu Watanabe, M.D., Ph.D. 	国際医療保健センター所長 医学研究科教授 医学部公衆衛生学教授 Director and professor of Research Center for International Health Development Professor of Graduate School of Medicine Professor of Department of Community Health, School of Medicine	公衆衛生、分子がん予防、分子疫学 Community health Molecular cancer prevention Molecular epidemiology
渡辺 良久 Yoshihisa Watanabe, B. Eng. 	医学部公衆衛生学助教授 Associate Professor of Department of Community Health, School of Medicine	公衆衛生、将来予測手法 Community health Bioforecasting technology
木ノ上 高章 Takaaki Kinoue, M.D., Ph.D. 	医学部公衆衛生学講師 Assistant Professor of Department of Community Health, School of Medicine	環境保健、人材開発 Environmental health Human resources development
古屋 博行 Hiroyuki Furuya, M.D., Ph.D. 	医学部公衆衛生学講師 Assistant Professor of Department of Community Health, School of Medicine	生物統計学、臨床疫学 Biostatistics Clinical epidemiology

入学試験案内

出願資格

<A方式>

学校教育法第67条の規定により、次の各号の一つに該当する者。

- (1) 学校教育法第52条に定める大学の医学、歯学または修業年限6年の獣医学を履修する課程を卒業した者および2007年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 大学院の課程を修了し、修士の学位を有する者および2007年3月までに修士の学位を有する見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第70条の規定により、前号に定める者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各号の一つに該当する者。
 - ① 学校教育法第68条の2第4項の規定により修士の学位を授与された者および2007年3月までに授与される見込みの者。
 - ② 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者および2007年3月までに修了見込みの者。
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者および2007年3月までに修了見込みの者。
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2007年3月までに修了見込みの者。
 - ⑤ 文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）。
 - ⑥ 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で24歳以上の者（1983年4月1日以前に出生した者）。

<B方式>

下記のいずれかの資格を有する外国籍を持つ者で各国政府機関または国際協力機構（JICA）からの推薦を受けた者。

- (1) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者および2007年3月までに修了見込みの者。
- (2) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で24歳以上の者（1983年4月1日以前に出生した者）。

出願期間

入試種別	研究科・専攻・コース名	出願期間	受付時間
春学期一般入学試験 (第2期)	医学研究科 先端医科学専攻	< A方式 > 2007年1月12日(金) ～1月24日(水) (締切日必着)	平日 午前9時～午後4時 土曜日
	将来予測国際保健指導者 養成コース	< B方式 > 2007年1月29日(月) ～2月13日(火) (締切日消印有効)	午前9時～正午 第2・第4土曜日を除く ただし、日曜・祝日は休み

出願窓口

東海大学伊勢原校舎 伊勢原教学課
〒259-1193 神奈川県伊勢原市望星台

電話0463-93-1121

出願手続

志願者は、次の受験料および出願書類をそろえ、本学所定の出願用（「重要書類在中」）封筒に同封のうえ、持参するか書留郵便にて東海大学伊勢原校舎 伊勢原教学課へ郵送してください。

※健康診断書について

出願時に健康診断書を提出する必要はありません。健康診断は入学後、本学において実施しますので必ず受診してください。

（注意）出願後の受験料および出願書類の返還は、いかなる理由があっても認めません。

< A方式 >

出願書類等	博士課程（医学研究科先端医科学専攻）	
	春季一般入学試験（第1期）、 （第2期）< A方式 >のみ	春季一般入学試験（第2期） < B方式 >のみ
受験料 （35,000円）	①出願受付窓口で出願書類の確認後、財務課で受験料を納めてください。 ②やむを得ず郵送する場合は、郵便局にて郵便普通為替証書を購入し、出願書類とともに本学所定の「出願書類在中」封筒に同封してください。	
志願票等 （本学所定の用紙）	①志願票等は、切り離さずに他の出願書類とともに出願受付窓口の教学課へ提出してください。 ②受験票は、受験料の領収書も兼ねていますので、受け取り後、大切に保管してください。 ③ 一般入学試験（第2期） において、将来予測国際保健指導者養成コースを志願する場合は、コース名を必ず記入してください。	
写 真	裏面に氏名を明記し、志願票に貼ってください。 （最近3ヶ月以内に撮影した正面上半身・脱帽で明瞭なもの。大きさは、縦4cm×横3cm、枠なし、白黒・カラー共に可。）	
最終学歴の成績証明書	出身校が発行したもの	
履 歴 書	学歴（高等学校卒業以降）・職歴（志望動機と関係する職務内容があればそれも記入してください）・研究歴について、年次を追って詳細にもれがないように記入し、現在の状況も必ず明期してください。年号は西暦で記入してください。 （注意）B方式で受験する者は留学生履歴書	
推 薦 書 （本学所定の用紙㊦）	<本学所定の用紙㊦> 研究指導教員が作成し、厳封されたもの。	<本学所定の用紙㊦> 研究指導教員が作成し、厳封されたもの。
各国政府機関または国際協力 機構（JICA）からの推薦書	<様式・枚数自由>	
出願資格に係わる最終学歴の 卒業（見込）証明書または修了 （見込）証明書	出身校が発行したもの。	
修士論文の写しと その内容梗概	修士課程修了（見込み）者のみ（博士課程前期修了見込者は、修士論文の中間報告書。）	
臨床研修医 修了（見込）証明書	機関の長が発行したもの。医師の免状を有し、2年間の臨床研修を修了または修了見込の者のみ。	
入学後の研究計画および 終了後の活動予定	<様式・枚数自由>	
合格通知宛先票 （本学所定の用紙）	3か所とも同じ宛先を明記してください。合格通知または諸事項についての連絡・通知が必要となった場合に使用します。 （注意）本国から直接出願する留学生は、日本国内の可能な住所を記入してください。	

試験日

< A方式 >

入 試 種 別	研究科・専攻・コース名	試 験 日
春学期一般入学試験（第2期） < A方式 >	医学研究科 先端医科学専攻 将来予測国際保健指導者養成コース	2007年2月16日（金）

（注意1）受験生は、試験開始の10分前までに試験場に入場してください。

試験場

東海大学伊勢原校舎（神奈川県伊勢原市望星台）

試験科目・時間

研究科・専攻・コース名	試 験 科 目	時 間
医学研究科 先端医科学専攻	外国語（英語、辞書携帯可 本頁注意参照）	9:00～10:00
将来予測国際保健指導者 養成コース	面接試験（志望する専攻分野に関連する専門試験を含む）	10:30～

（注意）

携帯可とする辞書は、一般的な書籍を示します。電子辞書、電子手帳、その他電子機能付物品の持ち込みは認めません。

試験場の注意

< A方式 >

1. 試験日当日は、受験票を必ず持参し、試験場入場時に提示してください。
2. 受験生は、試験開始の10分前までに試験場に入場してください。
3. 試験開始後20分までに試験場に入場しない場合は、受験を認めません。
4. 受験教室内では、携帯電話・計算機・電子辞書・電子手帳・翻訳機（同様の機能が付いた時計を含む）の使用を禁止します。また、入室時に必ず電源を切っておいてください。時計としての使用も認めません。
5. 試験場においては、すべて試験監督の指示にしたがってください。
6. その他、入学試験事項に記載されている諸注意事項を必ず遵守してください。

合格発表

- (1) 合格発表は、下表の日時・場所において、合格者の受験番号を掲示します。
- (2) 合格者には、合格通知を各個人宛（出願時に提出した「合格通知宛先票」の宛先）に速達で郵送します。
- (3) 不合格者には通知しません。
- (4) 合否に関する問い合わせには、一切応じません。

	日 時	研究科・専攻・コース名	掲示場所	入学手続期間	入学時期
春学期一般 入学試験 (第2期)	2007年 2月23日(金) 午前9時30分 翌日午後4時 まで掲示	先端医科学専攻 将来予測国際保健 指導者養成コース	東海大学 伊勢原校舎	2007年 2月23日(金) ～ 3月2日(金) 締切日 消印有効	2007年4月

入学手続

- (1) 入学手続方法は合格者宛に通知する「入学手続要項」にしたがい、学費・諸会費（一括納付）を銀行振り込みした後、入学手続書類を上記の入学手続期間内に「配達記録郵便」で郵送してください。
- (2) 現金自動預け払い機（ATM）、郵便局、パソコン等を利用した振り込みはできません。
- (3) 指定の期日までに入学手続をしない場合は、入学を許可しません。
- (4) 学費・諸会費を振り込むには、専用の振込用紙が必要になります。電話で現金の振り込みをお願いすることは一切ありませんので、ご注意ください。
- (5) 出願資格のうち、卒業見込み、修了見込み等で受験し合格した者で、2007年3月末日までに大学院入学資格を取得できなかった者は、合格取り消しとなり入学資格を失います。
- (6) 出願書類ならびに入学手続の書類に不正な記載をした場合は、入学後でも合格取り消しとなり入学資格を失います。

（注意）本学からの通知または連絡は、出願時に提出した「合格通知宛先票」を使用します。出願後、住所を変更した場合は、任意の用紙に「受験番号」・「氏名」・「志望専攻」・「旧住所」・「新住所」・および「電話番号」を明記し、封書にて伊勢原校舎教学課へ郵送してください。

学費・諸会費の返還について

いったん納付した入学手続の学費・諸会費のうち、「入学金」の返還は、いかなる理由があっても認めません。ただし、入学手続完了後に、入学辞退を希望し、2007年3月31日（土）午後4時（締切日必着または持参）までに入学辞退手続（詳細については、合格者宛に通知する入学手続要項を参照）を完了した場合に限り、「入学金」を除く学費・諸会費を返還します。

個人情報保護について

本学で取得した入学志願に係わる個人情報の利用は、以下のとおりといたします。

- ・受験票送付、入学選抜、合格通知送付、入学手続書類（入学調査・誓約書）送付、入学許可書（入学式案内含む）送付、学生証交付など、入学までの一連の業務およびそれらの各種連絡通知。
- ・入学後の修学関係（履修登録・名簿作成・学業成績等）、学籍関係（学籍処理・証明書発行等）、学生生活関係（奨学生選考・健康診断・各種登録申請・施設利用等）の業務およびそれらの各種連絡通知。

学費・諸経費

(単位：円)

費目	研究科	医学研究科
	同時入学 (春学期) 入学手続と 納付金	入学金
◎授業料		367,500
◎教育運営費		105,500
◎施設設備費		185,000
計		958,000
(秋学期) 納付金	◎授業料	367,500
	◎教育運営費	105,500
	◎施設設備費	185,000
	計	658,000
合計	1,616,000	

上表の各費目欄の◎印は、毎年度春学期・秋学期とも納付を示します。

2年目以降の学費

2年目以降在学中の学費については、人件費および国庫補助金（私立大学経常費補助金）の増減、物価動向、本学の財務状況など、諸般の事情および社会情勢を勘案し、改定することがあります。

(注意1) 修士課程および博士課程前記への入学生

東海大学・九州東海大学・北海道東海大学の学部卒業生、「出願資格1、-(2)」に該当する入学生（飛び級）および大学院修了生の入学金は半額とし、施設設備費は免除します。

修士課程および博士課程前期修了生の入学金・施設設備費は免除します。

(注意2) 修士課程および博士課程後期への入学生

東海大学・九州東海大学・北海道東海大学の大学院修士課程および博士課程前期修了生の入学金・施設設備費は免除します。ただし、東海大学医学部卒業生および東海大学・九州東海大学・北海道東海大学を卒業し他大学大学院を終了した者の入学金は半額とし、施設設備費は免除します。

(注意3) 上表のほかに、下記「諸会費」が必要になります。入学手続き時に納入してください。

(入会金を含め最短修業年限分を一括納入とし、本組合はこの会費によって運営されます。)

1. 学生健康保険互助組合費……………8,200円

※東海大学の学部卒業生および大学院修了生の入会金（200円）を免除します。

2. 同窓会費……………半期分 3,000円

※東海大学の学部卒業生および大学院修了生は免除します。

(注意3) 上記のほか、特別に実習等が必要になった場合、別途実習費を徴収することがあります。

(注意4) いったん納付した入学手続の学費・諸会費のうち、「入学金」の返還は、いかなる理由があっても認めません。ただし、入学手続完了後に、入学辞退を希望し、2006年3月31日（土）午後4時（締切日必着または持参）までに入学辞退手続（詳細については、合格者宛に通知する入学手続要項を参照）を完了した場合に限り、「入学金」を除く学費・諸会費を返還します。

Information about Entrance Examination

Type of Examination

General Examination for Spring Admission

<Schedule B> for Overseas Students

Major for Call

Doctoral Course, Graduate School of Medicine

“Course for Development of Future Global Health Leaders Based on Health Forecasting”

Major Code: MUD

Mission of the Course

Enabling students to develop their own countries' health policies, based on Bioforecasting Technology

Applicant Qualifications

- 1) Applicants should have obtained an M.D. or Master's Degree
- 2) Applicants should have recommendation letters from the Applicants' government or the Japan International Cooperation Agency (JICA)

Admission Quotas

Spring Admission (April): Few students

Outline of Enrollment Examination

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1) Application Period: | January 29–February 13, 2007 |
| 2) Notification of Acceptance: | February 23, 2007 |
| 3) Admission Procedure: | February 23-March 2, 2007 |
| 4) Enrollment: | April 2007 |

Application Documents

No.	Documents	Remarks
1	Application Fee: 35,000 JPY (money order or international money order for those applying from foreign countries)	RCIHD will be paid for applicant's convenience. Applicant to settle after enrollment.
2	Application Document (Designated Format)	RCIHD will complete document to assist applicant, because Japanese translation is required. Please send attached Preliminary Application Form by e-mail to RCIHD, instead of Application Document.
3	Photo (taken within last 3 months. W3cm x H4cm, B/W or Color)	Send digital file or scanned image as a JPEG file to RCIHD.
4	Certificate of Graduation/Completion of Previous Education	This document must be issued by Institution of the last education. Send by postal mail.
5	Academic Transcripts from Previous Educational Institutions Attended	This document must be issued by the institution previously attended. Send by regular mail.
6	Personal History	RCIHD will complete based on Preliminary Application Form.
7	Letter of Recommendation from Tutor (Designated Format)	RCIHD will issue.
8	Letter of Recommendation from government or JICA (Free Format)	You should obtain from government of your country or Japan International Cooperation Agency (JICA) Local Office. Send by regular mail.
9	Letter of Recommendation from representative or manager in charge of Applicant's Organization (Free Format)	This should be written by the recommender himself/herself and sealed as an enclosure.
10	Copy of Master's Degree Academic Paper, and Summary (English)	Send by regular mail.
11	Research Plan following Enrollment (Approx. 400 words)	Describe your plan for the 4 years of study, and your postgraduate plans. Send as a Microsoft Word File via e-mail to RCIHD. RCIHD will advise on any required refinements.
12	Contact Address Slip	This should be your postal address for documents and quick response letters, etc.



Date of Examination

February 16, 2007 Screening with Application Documents

Acceptance Notification

February 23, 2007

- 1) Application numbers of accepted applicants will be posted at the Isehara Campus of Tokai University.
 - 2) Acceptance documents will be sent by express mail to successful applicants.
 - 3) Unsuccessful applicants will not be notified by mail.
- *RCIHD will advise results by e-mail.

Enrollment Process

February 23-March 2, 2007

- 1) Successful applicants should send enrollment fees (1st year's tuition fee, etc.) by bank transfer within the above admission procedure period according to the document which will be sent to successful applicants.
- 2) Successful applicants should send enrollment documents within the above admission procedure period.
- 3) Acceptance of enrollment will be canceled if a successful applicant fails to complete all enrollment procedures within the above admission procedure period.
- 4) If it transpires that an applicant has supplied incorrect information in application documents and/or enrollment documents, acceptance of enrollment will be canceled, even after enrollment.

Conditions for Refund of Paid Enrollment Fees

- 1) When admission fees have already been paid, the actual enrollment fee will not be refunded for any reason.
- 2) If an applicant withdraws his/her enrollment application before 16:00 on March 31, 2007, tuition and other fees (except for the enrollment fee) will be refunded.

Tuition Fees and Other Fees

During the enrollment procedure, applicants should pay either Spring Semester Fees or the total amount for the first year.

Type of Fee		Amount (Japanese Yen)
Spring Semester (Pay during Enrollment Procedure)	Enrollment Fee	300,000
	Tuition Fee	367,500
	Education Operation[al] Fee	105,500
	Facilities and Equipment Fee	185,000
	Total	958,000
Autumn Semester	Tuition Fee	367,500
	Education Operation[al] Fee	105,500
	Facilities and Equipment Fee	185,000
	Total	658,000
1st Year Total		1,616,000

Fees for the 2nd year will be determined after taking into account such factors as labor costs, government subsidies, price fluctuations, university's financial situation, etc.

(Annex. 1) As well as the above fees, Association fees must be paid during the enrollment procedure.

Type of Fee	Amount (JPY)	
1) Students' Health Insurance Association Fee	24,800	JPY 6,200/year x 4 years
2) Alumni Association Fee	24,000	JPY 3,000/semester x 2 semesters/year x 4 years
Total	48,800	

(Annex. 2) In addition to the above fees, a Practice Fee will be collected if a special practice is required.



For Inquiry, Please Contact to Secretariat of RCIHD.

Research Center for International Health Development (RCIHD)

Tokai University Graduate School of Medicine

Director: Dr. Tetsu Watanabe, Professor

Secretariat: Mr. Yoshihisa Watanabe, Associate Professor

Dr. Takaaki Kinoue, Assistant Professor

Ms. Sachiko Terakado, Secretary

Ms. Hideko Kobayashi, Secretary

Address: 143 Shimokasuya, Isehara, Kanagawa 259-1193, Japan

Phone: +81-(0)463-93-1121 Ext. 2002 or 2620 Fax. +81-(0)463-92-3549

E-mail: rcihd@m.med.u-tokai.ac.jp or nhln@mars.ihs.u-tokai.ac.jp